



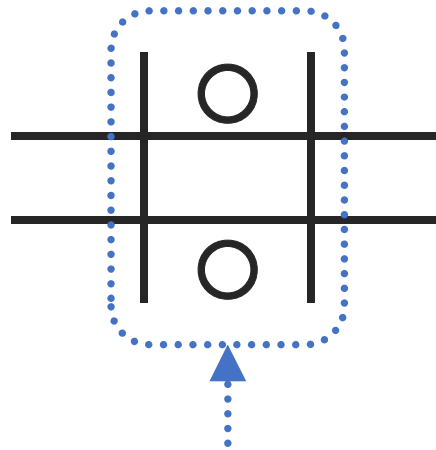
陰陽五行論塾Contents

陽占天中殺

陽占天中殺

陽占天中殺は生年天中殺と生月天中殺の命式を持っている場合に表出する。

それ以外の場合は陽占天中殺には該当しない。



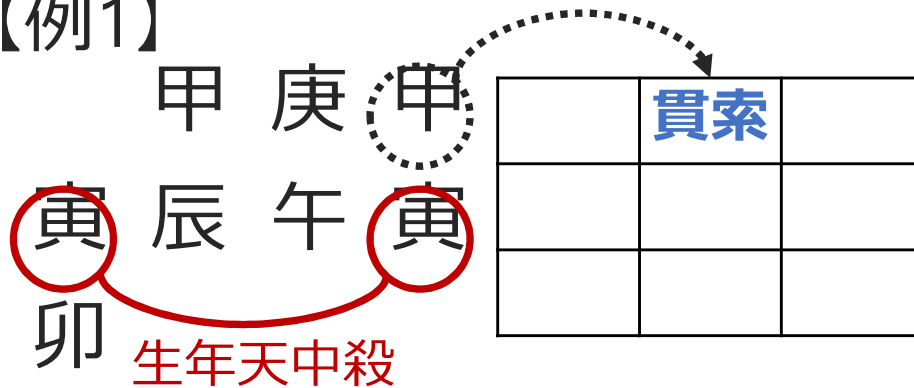
縦の精神の位置(北方と南方)にのみ表出する。

特徴

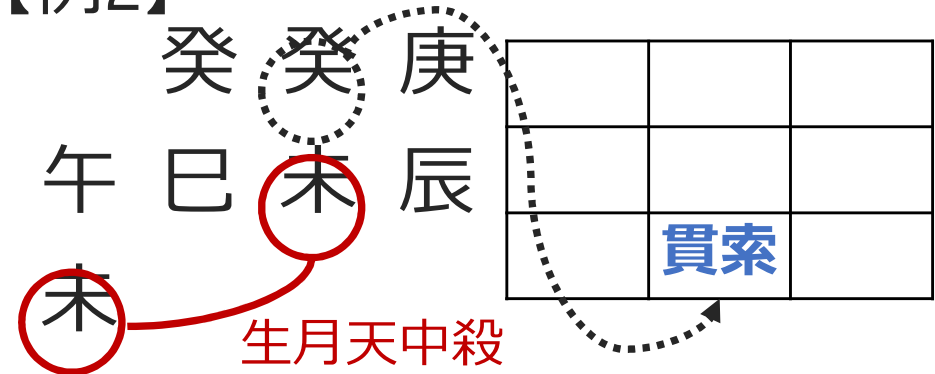
- ① 杵がなくなる(天中殺現象が常に動く)
- ② 自分でコントロール出来ない

貫索星天中殺

【例1】



【例2】



自我、頑固、マイペース、単独の守備力、兄弟姉妹、自分自身という貫索星の特徴に異常が出てくる。

現象

- 常識外の自我心・頑固さ。
極端な無責任。主義主張が無くなる。
- 本人と兄弟の仲が悪くなる。協力し合えない。
「大家族の中の孤独」。一人で生きて吉。

貫索星天中殺

人生において

- 一代で事業を始める要素を持つ。
- その事業を手放してしまう。
- 不本意ながらも、そうなる。長く継続できない。

利点

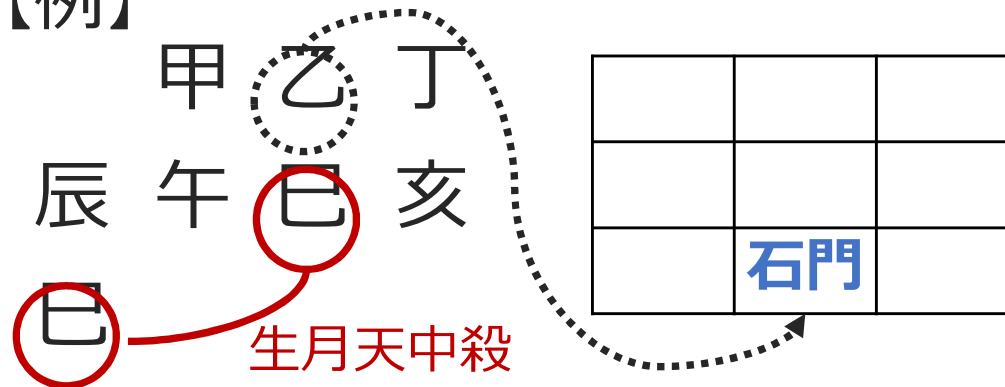
- 変身上手になり、環境に適応出来るようになる。
- 本人は身弱でも、身強の配偶者とうまくいくようになる。

改良ポイント

- 集団の中での生活の方が安全(サラリーマン等)。
- 長く継続できないので、結果的には自営業はしない方が良い。
- 兄弟と組まないこと(仲が悪く衝突してしまうから)。

石門星天中殺

【例】



和合、協調、社交性、政治力、仲間作り、集団の守り、兄弟友人、仲間という石門星の特徴に異常が出てくる。

現象

- 自己の意志に反する仲間作り。
- 友人、知人に恵まれ過ぎる時と、裏切られる時の差が激しい。
- 意に添わない人と結婚、または付き合ってしまう。
- 人間関係が結果的に長続きしない(5～7年で終わってしまう、本人が集団から離れる事が多い)。

石門星天中殺

人生において

- 集団の中での苦勞が人間性に磨きをかける。
- 仲間を裏切るか、自分が裏切られる体験をする。

利点

- 人間性に磨きが掛かる。
- 有から無に帰してしまう。
→精神世界(芸術・宗教等)で成功する。

改良ポイント

- 人間性を磨いて、無形の世界に入る。
- 精神世界に入る。
(芸術家・クリエイター・デザイナー・宗教家等)

【注】 石門星と禄存星は宗教性を持つ

鳳閣星天中殺

自然体、遊び、中庸、のびのび、直接伝達、目下、子供、部下
(特に男性において)という鳳閣星の特徴に異常が出てくる。

現象

- 気楽な対処が出来なくなる。
- 神経の消耗が激しくなる(短命)。
- 会話や自分の意志が正確に伝えられない。
- 子供運が薄くなる。
 - 特に父親が鳳閣星天中殺である場合には、子育て中に病気、怪我、事故、非行等の現象が子供に表出する。

【注】

鳳閣星はゆったりして、せこせこしない性情を持っている。生命力がある。

鳳閣星天中殺

人生において

- 精神の不安定を作る。
- 目下が自分の思い通りにならない。
- 人に誤解され易く、孤独の性情が生まれる。

利点

- 働き者の評価を得る。
- 人生の最後の土壇場で、生きる世界に舞い戻る。
→生命力の星に異変が起こる。

改良ポイント

- 多くのことに、手を広げないこと。
- 多成多敗を避け、寿命を縮めないようにする。
↳「成功しては失敗・・・」を繰り返すと短命となる。

調舒星天中殺

孤独、感性、神経質、反抗、反発、個人的伝達、間接伝達
目下(子供→特に女性において)という調舒星の特徴に異常が出てくる。

現象

- 反抗、反発が出来なくなる。
- 完全な孤独状態が起こる(引き籠もりの状態)。



後に精神の強さを形成していく



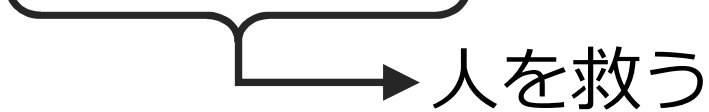
結果として、若くして悟る

調舒星天中殺

人生において

- 外向的になると、オーバーな表現となる。
- 内向的になると、自殺、心中、放火、社会的迷惑を引き起こす。
- 最大の弱点として、経済観念が薄くなる。
- 短命になりやすい。

利点

- 天才的な観察力、洞察力、芸術家、哲学者、思想家となる。


改良ポイント

- 現実世界である商人、実業家の道に進まないこと。
(サラリーマン程度ならまだOK)
- デザイナー、エンジニア、研究者等のような感性を使えるポジションであれば、組織の中に入ってもOK。

禄存星天中殺

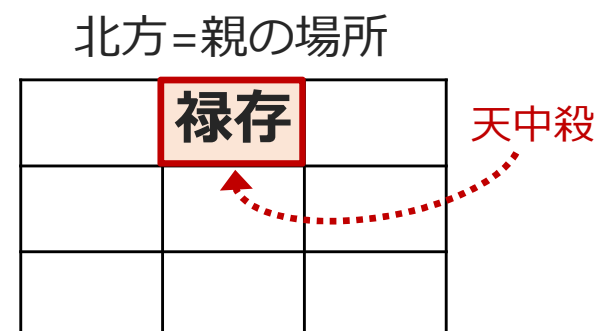
愛情、奉仕、自己顕示欲、回轉財、愛人、父親的愛
という禄存星の特徴に異常が出てくる。

現象

- 意に反する愛情奉仕の発揮。
- 信用面で周りの人を裏切ったり、信用を大きく失う。
- 父親縁が薄い→家系が急激に衰える。

└─ 子供縁の薄い親が未来エネルギーと
引き換えに得た子供

特に生月天中殺よりも生年天中殺
(北方禄存星天中殺)に現象が出易い。



禄存星天中殺

人生において

- 物質運の上下が激しく、大きくなり易い。
- 本人が大成した場合は、経済運に出る。
- 女性の場合は、父親の運気が強いと結婚し難い。また結婚したとしても離婚し易い。

利点

- 自分の意志に関係なく、時の人となる(有名人になる)。

改良ポイント

- 親から離れるか、自己の進みたい道を諦め一族、一家のために犠牲的となる生き方をすると運はよくなる。

司禄星天中殺

愛情、奉仕、蓄積、積み重ね、家庭の平和、堅実、妻、女性的愛という司禄星の特徴に異常が出てくる。

現象

- 長い時間の最後の頃になって、不満を感じる。
(蓄積したものが、自分の意のままにならないから)
- 日を追うごとに焦りが強くなる。
- 若い時代は問題なし。
中年から晩年にかけて現象が強く現れる。
- 司禄星天中殺の女性は10～15年で離婚をする。

【参考】

西方は蓄積、結果の場所。
西方に司禄星があると
長い時間を掛けて大きな蓄財をする。
(司禄星天中殺とは関係なく)

西方

蓄積
結果

司禄		

司禄星天中殺

人生において

- スタートの平穩、ゴールの波乱。
(結婚生活で例えると新婚時代は平穩であるが
晩年になると不満が蓄積して波乱が起こる)

利点

- 常に裏側へと回り込む人生で大成する(参謀・補佐役)。
- 隠れた財産形成はうまい。

改良ポイント

- 平均外の結婚(年齢差が大きい、外国人やバツ1の人との結婚)
- 核家族を築く。
- 裏側へ廻る。

【参考】

丁が日干で司禄があると間がさして
自分が「横領」してしまう。

丁 ➡ 庚。庚の器に入った司禄だから。

丁 ○ ○
○ ○ ○

司禄

北方にある
場合は隠財

車騎星天中殺

一本気、行動力、攻撃性、正直、正義感、一匹狼、偏夫、野人という車騎星の特徴に異常が出てくる。

現象

- 回りの状態を全く無視した行動。
- 出処進退をわきまえない人間性(自分勝手)。
- 根拠の無い攻撃性。
- 女性に限って恋愛や結婚に変転変化が起こる。
(安定しない)
- 相手の意に、強く引っ張られる(拒否できなくなる)。
- 十大主星中、最も精神不安定な世界となる。
- 家庭生活も不安定となる。
- 短命型人生となりやすい。

車騎星天中殺

人生において

- 幼少期から、夢の世界に進めたら短時間に夢が実現できる。
- 全く休息の無い人生。

利点

- スポーツの世界で思わぬ勝利を得る。
- 動乱の世にあって、評価が急激に上がる。
- 勝負師の世界で成功。

改良ポイント

- 良き相談相手を持つこと。
(絶対に一人で決めないこと)

牽牛星天中殺

用心深い行動、名誉、名声、組織を組む、正夫、官吏、補佐役
こだわりという牽牛星の特徴に異常が出てくる。

現象

- 体制に与しながら内部の反逆者(王家の反逆児)。
- 一度、動乱になると、水を得た魚のようになる。
(動乱とは、国・組織・家庭で...)
(家庭の場合、子供の死、夫の転勤・転職等)
- 女性であれば、養子を取る。
- 男性であれば、養子になる、他家を継ぐ。
(変形した長男の役目)
- 平和な時代は牽牛星の本来の役割を果たす。
(平和期の孤児)

牽牛星天中殺

人生において

- 役割・職分を忠実に果たす時と果たさない時の差が大きい。

利点

- 人間としての器に広がりが出て時として大人物と言われる。

改良ポイント

- 他家を継ぐ。
- 変形した長男の生き方で、天中殺現象が出にくい。

【参考】

男性で下記条件を2つか3つ持っていると、養子運と判断する

- ❑ 天印星をっていて、次男
- ❑ 牽牛星天中殺
- ❑ 日座天中殺(日干が甲戌か乙亥)

龍高星天中殺

改良、改革、離別、放浪、冒険、体験学習、偏母、アイディア豊富という龍高星の特徴に異常が出てくる。

現象

- 忍耐すべきときに忍耐が出来ず、また、その逆もある。
- 改革の時期を間違える。
- 激しく破壊と改良の繰り返しをする。
- 自分に付いて来た人の期待を裏切ったり、信用を失う。

ポイント この人に付いて行ってはダメ。
一緒に居ると共に失敗をする。

【参考】

日干が水性の場合、内面の葛藤がある。
宿命中に七殺があると、更に内面の葛藤が激しく表出する。

龍高星天中殺

人生において

- 子供の頃からの内面の葛藤によって、大人になる頃には、精神不安定な状況に置かれても不安定さを表に現さないようになる。
- 陽占天中殺の中で最も現実に強く生きていける。

利点

- 孤独における強さ、たくましさが備わる。
 - 全く動じない人となりとなる。
 - 経済・仕事・日常生活等の現実生活に強い。
- 陽占天中殺のハンデ無し。

改良ポイント

- 孤独の中に生きること。

【参考】

調舒星天中殺は葛藤をして、自己まで破壊する。

龍高星天中殺は葛藤をして、自己を生かすために廻りを破壊する。

玉堂星天中殺

知恵、慈愛、伝統、古典、常識、理論性、母親、知恵者
という玉堂星の特徴に異常が出てくる。

現象

- 世の中の主流に入れず、反体制側に入ってしまう。
- 学ぶ速度にムラが出る。
- 創造したものに満足できない。
- 親子(特に母親と)関係に問題がでる(特に女性に出易い)。
 - 争いながら同居する。
 - 一家の犠牲者となり婚期を逃す。

【参考】

玉堂星は母親思いの星。母親を大切にする傾向が強い。

玉堂星天中殺

人生において

- 正当に評価されない。
(一見、おバカにみえてしまうから)

利点

- 思考能力、頭の回転が非常に速くなる。
- 多種多様の創造性(ちょっと龍高星っぽい)が出る。

改良ポイント

- 早く家から出ること(特に母親と離れること)。
- 専門分野のこだわりを捨てること。